

弘経寺だより

発行所

寿龜山弘経寺

〒303-0041

水海道市豊岡町甲1

Tel.0297-24-0895

施餓鬼会

七月も半ばを過ぎますのに鬱陶しい梅雨が続いていきます。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今年も左記の通り施餓鬼会を厳修いたします。ご参列いただきたく、ご案内申し上げます。

● 日時 八月十八日(金) 午後二時

● 場所 飯沼 弘経寺

永代施餓鬼、特別回向、付施餓鬼のお申し込みは各地域のお世話人さん、常総市外にお住まいの方は直接弘経寺までお願いいたします。

お棚経の変更のお知らせ

六月二十五日に開催されました飯沼弘経寺世話人会において、お棚経の見直し案が審議され、左記の通り決議いたしましたのでご報告申し上げます。

変更内容

● お盆のお棚経は新盆のお宅のみ行うことにいたします。

● 新盆以外のお檀家さんのための棚経は秋春の彼岸実施いたします。

変更提案理由

● 八月は常総市内十六カ寺のお施餓鬼に随喜しなければならぬため、一年で最も忙しい月です。

● 当山のお施餓鬼は八月十八日に営まれますが、現行の棚経のシステムのままではその準備(塔婆書き、堂内荘厳、掃除、当日のご接待など)のための時間を確保するのが困難になります。

● 現行のまま一日七〇軒をお参りすると一軒あたり五分ほどしか時間が取れません。年に一度の機会ですのに、ゆっくりお話しする時間がありません。

改善期待効果

● 新盆の御回向は浄土宗において大変重要な意味があります。新盆のみのお棚経でしたら、一日かけて丁寧にお参りすることができま

● 新盆以外のお檀家さんへは秋と春のお彼岸にそれぞれ三日間、三〇軒ずつお棚経に伺います。三〇軒×六日間なので一八〇軒をお参りすることができま

● お盆に新盆のみ約十軒、お彼岸の時期に一日三〇軒であれば、時間を気にしながら棚経のお参りするというご無礼が無くなります。

● 常総市内寺院のお施餓鬼をご随喜する時間や当山のお施餓鬼の準備にかける時間を確保できます。

以上ご理解ご配慮のほど、お願い申し上げます。尚、今年の新盆のお棚経は八月十五日(火)とさせていただきます。お彼岸のお棚経の日程は次号の「弘経寺だより」にてご案内させていただきます。

開山忌円成

先月六月四日(日)に開山忌が厳修されました。例年開山忌は二日間行われていましたが、本年度は本堂改修工事準備のため一日のみの開催となりました。大本山増上寺の江口執事長に導師をお勤めいただき、「長年にわたり老朽化が心配されていた大本山増上寺別院弘経寺本堂改修の目処がた

ち、感無量です」とのありがたいお言葉をいただきました。また、増上寺も本堂改修工事に誠心誠意支援するとの力強いお言葉もいただき、着工を目前に控え、参列した檀家一同心強く感じました。

今年で嘆誉了肇上人が飯沼弘経寺を開山されて以来五九二年目をむかえます。開山上人のご遺徳を偲びつつ、私たちの未来の象徴である新しい弘経寺本堂の再建に向けて、共に手を携えて参りましょう。

着工のお知らせ

厳正なる選考審査の結果、本堂改修工事施工業者は株式会社金剛組に決まりました。着工は八月からとなりますが、八月はお盆の月なので本格的な工事開始は九月からとなります。五月からお檀家の皆様には浄財の御寄付等お世話になっております。来年の秋には立派な新本堂が境内に姿を現す予定です。

いよいよ弘経寺本堂の歴史が始まって以来の大規模な改修事業が幕を開けます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

寄付金の入金状況

2006年7月

お蔭様で大本山増上寺別院弘経寺のお檀家の皆様や弘経寺にご縁のある方々の多大なるご寄付のご協力により、五月一日からの勸募開始以来、

三一、五二二、七〇二円

のご浄財が集まりました。勸募開始より二ヶ月余りで三千万円を超え、大変順調にご浄財が集まりつつあります。飯沼弘経寺を愛してくださり、四〇〇年に一度の大事業に関心を寄せてくださり、勸募をしてくださっている皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

最終的な目標額は七千万円です。で、始動状況が好調とはいえこれからが本番です。引き続きご援助、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

五月十八日 外崎昌範殿 九十一歳

六月 八日 古谷 昇殿 七十三歳